

禁酒禁煙と基督教
小林美登

FUJISAKI & COMP.
精良品上品

支店
藤崎商會
サン・ハウ
Rua S. Bento No. 68-A
Bento Co.

伯刺西爾時報取次所
館成成功館
古謝將義
Largo 7 de Setembro 15
Tel. Central, 2008, Santos

OS

1000

出　　追　　尚

詳細

細は
手紙

七

事務
御照

所見
會議

岸の節に就

本聖道は左へ

御
テ

尊ね
ノル
イ

トセ
セ・
セン・
ゴ

い
五
サン
トラ
ム
ジ
ア
Post
Linha

1

一ラ
—
ン

二十一

簡介

四百八十一

—
—

Proprietários
HENDES CAMPOS FILHO & CIA.

MENDES CAMPOS FILHO & CIA.

南阿及新嘉坡經由『神戸まで七十日間』
◆ 河内丸 本年三月中旬リオ發
◆ 錄倉丸 本年五月月初旬リオ發
追て出帆期日其他は當社代理店たる左記へ
御問合せ被下度候
聖市 Autunes dos Santos & Co.
Rua José Bonifácio, 17 S. Paulo
Lamport & Holt Ltd.
Av. Rio Branco, 21-23 Rio de Janeiro

寂しさ人 丘の人

(三)

夜の更くに連れて今迄で種々な用件で緊張してゐた精神は疲勞と睡眠不足で彼の魂は遊夢病者の如に何時しか現實の意識から遠ざかつて夢幻の境を彷徨してゐる……

薄暗い燈火の光りに、彼女の枕元に並べられた澤山の藥瓶が鏡く半透明に光つて氣味悪う影をうつしてゐる

午後から降り出した雨は夜になつて未だ止まず温かに瓦を打つ音がする陰氣な夜である。

かうして二ヶ月近くも彼女が病床に伏してから夜と云ふものはつくなも倦いてゐるものだけれど、殊に其の夜は嫌に淋しい感じが湧くのだった、其處ら一面投げ散らしたマツチの擦りからか氣になつて仕方がない。明日は枕元の空瓶を片附けて、あのマツチの擦りからを躊躇に掃き捨て、了ふ。^と彼は思った。燈火があるのに、夜が更けた。故に蚊がぶんぶん飛んで来る。少し陥つて弟は毎日一人の野良仕事に疲れて讀みさしの古雜誌を面に捲ふたまゝ、たいもなく熟睡した。彼もうそ何時しかれた。彼女は呻くやうな低い聲が耳に入つて目が覚めた。

「胸が苦しくて致様がないから」と彼は思つた。苦しそうに起して下さった。苦しそうに而も微に彼女は言つた。

「如何したんだ? 今朝平に起きたつて致方がないぢやないか? 彼は不審に思つて半ば宥めるやうに云ふのであつた。

『彼女は其の細い両手を差伸べて何のかを求める如にわざかに動かした。彼は思はず起き上がつて彼女の手を取つた。呼吸はかなり忙しく苦しそうであつて、刹那! 彼は或る陰惨な豫感を全神經に通知しらべた。彼の手は止んだ。彼女の低い呻吟聲は止んだ。

『T-Waterをタタケ』

彼は死よ! お前の貴い死よ! 彼は

夜は深くに満ちて車は再び、あの倦びたやうな、かすれたやうな笛笛の音に、静闇として構内の夜半の空氣を震はし、暗黒の中に動きだした。

時報詩壇 ◎夜話 清水平三

黄き洋燈の影に卓を闇んで話す人々誰がそれを語る

◎外人に人は吹へあり月は既に入れて誰がそれを聞くとする

卓は笑聲に満ちて誰が身を痛くしむ

人との離絶を湧く洋燈の淡きに誰話す人もなき

私が病める身

旅愁身に痛くしむ

長井彌太郎

◎星 星が出た星が出た

小奴隸の娘 (九五)

ベルナルド・杉山 観影作

今更に發揮した美しい娘娘や、絶えず其目を焦し、その唇にこみ上げて無き身を屈し恍惚として、洋燈の淡きに

聴いて賣う事の出来る場所を漸く見つけ付ける。彼は感激した重々しい口調で云つた。

『エルビィラさん、貴女がもしもあなたにのみよるものだと思つてゐるんです。今日以後僕の將來はたゞあなたの家での天使なら、舞踏會のサロンドでは女神なんです。僕の心はもうなかつた、そしてエルビィラだけに見えた。

あなたにのみよるものだと思つてゐるんです。吉にも困りも、あなたたは

旅鋪

ボニータ街二番
上地彌藏
御料理 一切
（一三五七〇）一
電話
郵便
エスタン
ソロカバナ通り
東京館
新宿シマー一四七六
Ruta Mayor 199

共特同別大割引
購入
◆新古サツコ販賣 日本金賣入
◆農產物仲買及委託
◆神田醬油取次店
瀨木商店

A detailed black and white illustration of a large onion, showing its layers and root system.

◆右は凡て特撰殊に發芽に就ては一々
確實なる試験を致しましたから安心
して御買上げ下さいまし。

平田旅館

平田崎太郎

KINJÔ
CIAO-DENTISTA
Honsu Penna, 37
Cidade 6267
S. PAULO

齒科
金城國際

山 戶

Casa Aloise

Telephone Central 3844
Rua Liberdade, 53

電 話 リベルタリードア
新宿区五三街一四二号

常に高
なる新
を極め
にて調
します
ダーテ

▲サンタカカリナ州コロニア・ド・サイで米作契約農業者を左の條
第一新主は農業者に牛馬及耕播種器械を貸す
第二耕約年限は三年又は四年
第三耕主は農業者に食料品又は必要な前貸をする
第四耕主は農業者家庭に旅費を貸す
第五地内には一の條件により借入を支却します
第六一平方英里八十英尺八十英里二十英里乃至百英里、住宅
第一地内には一千二百英尺乃至四百英里

大石内蔵之助 牛井桃水

第一百五十六回

「御姓名仰せられ、奉けなう存じまするが、願はくは御住所を承終心を配つて居るので、年輩の若士夫は頻りに問うた。」
 「浪々の身は此を住居と申す程の處も御座らぬ、南船北馬、それからお詫びの許を尋ねぐつて居ります次第。」
 「然らば拙者が一つのお詫び、枉ちお聞容れ下さるまいか」

「何事に御座りますか、先づ仰せられませう。」
 「娘が危難を免れましたは、偏に足下の力、明日にも御禮として、参上致しませぬが、御旅宿へ推参却て御迷惑御座りますが、其の儀はわざと差控へます。」

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.

Rua da Candelaria, No. 23

Caixa Postal 380

Rio de Janeiro

横濱正金銀行支店

リマデ・ジャネイロ

OSAMA SHOSEN KAISHA

K

サントス

電話セントラール三〇五四番

郵函

三二二八番

各地食糧店でお求め下さい。

塙から

製造本舗

セナドル、ダンタス街五三番

玉に取つて、すつてんころりと投飛

玉に見ましめたるを、残念ながら連て歸

思ひ込んだ。

で、いつもより酒が旨い、酔をさまよせぬ、イヤもう強いの強くないの

と、お詫にならぬ相手、此勘八を手

て寝さへすれば、明日へ持越す氣

玉に取つて、すつてんころりと投飛

玉に見ましめたるを、残念ながら連て歸

思ひ込んだ。

づがひもないフ

づつて、お届申したので御座ります

○五人や十人掛つても、所詮叶はぬ

夫は頻りに問うた。

「浪々の身は此を住居と申す程の

夫は頻りに問うた。